

2008年センター報告・日誌

* 左右田文庫保存事業

今年度より一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、左右田文庫の保存修復作業を行っている。全資料に対する劣化調査をすると共に、保存修復作業が必要な資料に対しては、保革油塗布、保護ジャケット・保存容器の作製、ページ修理、保存製本等の処置を施している。こうした保存修復作業は、製本家・書籍修復家からの指導を受けながら、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われている。

* センターホームページ改修

フランクリン文庫総目録の完成に合わせて、フランクリン文庫を含む古典センター所蔵の貴重書群およびセンターの活動を広く一般に紹介するため、センターホームページをリニューアルし、10月に公開した。

* ドイツ法学論文コレクション電子化

研究拠点形成費補助金（21世紀COEプログラム）により、ドイツ法学論文コレクションの一部電子化を行った。

第9回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7月14日(月)から7月16日(水)までの3日間開催し、全国の国公立大学図書館等から8名参加で、実習を中心に行った。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 保存計画のための材料と環境 | 増田勝彦（昭和女子大学教授） |
| 2. 劣化調査と保存計画 | 増田勝彦,
床井啓太郎（社会科学古典資料センター助手） |
| 3. 製本構造、調査票の活用、クリーニング、
書見台、保存容器、保存製本 | 岡本幸治（製本家） |

第28回西洋社会科学古典資料講演会

下記の内容で、11月11日(火)から11月14日(金)まで4日間開催し、全国の国公立大学図書館等から29名が参加した。

古典研究

- (1) 一橋大学社会科学古典資料センター所蔵資料から見るイギリス経済学の潮流について
木村雄一（埼玉大学教育学部准教授）
- (2) オーストリア哲学と世紀末思想
嶋崎 隆（一橋大学大学院社会学研究科教授）
- (3) モンテスキュー『法の精神』(1748)とその読者たち
山崎耕一（一橋大学社会科学古典資料センター教授）

書誌学

- (1) 18世紀イングランドの民衆向け出版物を読む
佐藤和哉（日本女子大学文学部准教授）
- (2) 古版本の目録作成について
床井啓太郎（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）
- (3) 記述書誌を"読む"面白さ—図書館員のための書誌学入門—
武者小路信和（大東文化大学文学部准教授）
- (4) フランス17世紀における書物をめぐる状況
野呂康（成城大学非常勤講師）

保存・修復

- (1) 紙資料の保存
増田勝彦（昭和女子大学大学院生活機構研究科教授）
- (2) 書籍の修理と保存の技術
岡本幸治（製本家）

社会科学古典資料センター見学（書庫・所蔵資料・貴重書保存修復工房）

日誌（2008年1月～12月）

3月31日

一橋大学社会科学古典資料センター年報 第28号発行

Study Series No.59：岩本吉弘

『啓蒙の書物学—ガブリエル・ペニョと「ビブリオロジー」—』発行

Study Series No.60：Yuichi Kimura

『The foundation and development of the LSE in late Victorian Britain』発行

6月3日

第9回社会科学古典資料センター専門委員会

議題：1 平成19年度事業報告について

2 平成19年度決算報告について

3 平成20年度事業計画について

4 センター年報，Study Seriesの包括許諾について

7月14日～16日

第9回西洋古典資料保存講習会開催

8月13日～15日

蔵書点検

9月23日

第22回社会科学古典資料センター主催講演会

ジルベール・ファッカレロ「テュルゴ，コンドルセ，レドレル—公共経済学の基礎」

11月11日～14日

第28回西洋社会科学古典資料講習会開催

12月3日～17日

センター小展示「文豪たちの書斎—センター所蔵書簡コレクションから」開催

利用状況（2008年1月～12月）

開館日数	225日
利用者	222人
（学内）	101人
（学外）	42人
（文献複写）	79人
利用冊数	384冊
複写冊数	86冊